

科目名 (英文表記)	<b>経済学分析手法Ⅲ (ビジネスエコノミクス)</b> <b>(Economics and Analytical Methods Ⅲ )</b>		
科目区分	基礎科目	単位数	2 単位
担当教員名	宮崎 義久 (非常勤講師)	ナンバリング	MBA_C_EA 6231
研究室番号	—	研究室電話番号	—
Eメール・アドレス	y-miyazaki@sendai-nct.ac.jp		
<b>授業の内容及び方法：</b> 次頁以降に記載			
<b>授業の目的：</b>			
<p>「ビジネスエコノミクス」は、いわゆるミクロ・マクロ経済学をはじめとする経済理論等を基礎とし、ビジネスの現場で起こっている様々な現象を体系的に理解し、その見方を提供する学問である。本授業では、新聞やニュースなど身近なテーマを素材として、個々のケースを論理的に掘り下げてみることで、現代の経済を見る眼を養うことを目的とする。同時に、経済学の分析手法を理解しつつ、それがどのように現場で応用可能であるかを自ら考え、参加者同士で共有・議論し、発展的な思考力を身につけてもらいたいと考えている。</p>			
<b>到達目標：</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (主たる目標) 新聞やニュースでの出来事がどのような問題に直面しており、どのような背景で起こっているのかを経済学的な観点から読み解く。</li> <li>・ (従たる目標) 自らの事業や仕事内容を踏まえて、経済学的な視点からビジネスの世界の現象を分析・評価するための力を身につける。</li> </ul>			
<b>使用教材：</b>			
<p>授業は配付資料を中心に講義を行い、参考文献等は必要に応じて適宜紹介する。  入門的な書籍としては、伊丹敬之『ビジネス現場で役立つ経済を見る眼』東洋経済新報社、2017年がオススメである。</p>			
<b>成績評価の方法：</b>			
<p>成績評価は、以下の項目および割合に基づいて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席：0% (但し、5 モジュール (10 時限) 以上の出席が必須)</li> <li>・ 課題：40% (具体的な課題は授業時に説明する)</li> <li>・ 最終試験：60%</li> </ul> <p>評価に不服のある場合には、不服申立書を以て、教務委員長に申し出ること。</p>			
<b>履修上の注意事項：</b>			
<p>事前に経済学の基礎理論等を学習していることが望ましいが、未履修者にもできるだけ分かりやすく解説などを行っていく。新聞やニュースで日々の経済事情について疑問を持ち、論理的かつ批判的な視点で物事を読み解こうとする姿勢が大事である。</p>			